



2023年6月12日

各位

会社名 株式会社シャノン
代表者名 代表取締役社長 中村 健一郎
(コード: 3976 東証グロース)
問合せ先 取締役 経営管理担当 友清 学
(TEL. 03-6743-1551)

2023年10月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2023年12月12日に公表いたしました2023年10月期第2四半期連結累計期間(2023年11月1日~2023年4月30日)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、以下の通りお知らせいたします。
なお、2023年10月期通期連結業績予想については、現時点では見直しの必要はないと判断しています。

1. 連結業績予想と実績の差異

(1) 2023年10月期(2023年11月1日~2023年10月31日)第2四半期業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,580	百万円 △70	百万円 △65	百万円 △81	円 銭 △27.60
実績値(B)	1,450	△134	△137	△134	△46.35
増減額(B-A)	△129	△64	△72	△56	△18.75
増減率(%)	△9.0	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2022年10月期 第2四半期)	1,130	△148	△144	△145	△49.68

(2) 差異の理由

①営業利益の差異について

(売上高、売上原価)

サブスクリプション事業におけるプロフェッショナル売上は納期ズレの影響により当初予算に対してビハインドとなりました。また、メタバース事業及び広告事業についても当初予算に対してはビハインドとなりました。

一方で、イベントクラウド事業については当初予算を上回る実績となったものの、原価率の高いバーコードレシタル等の機材売上の影響が主因であったことから、原価率は想定より高くなりました。

以上の結果、売上高は当初予算1,580百万円に対して1,450百万円(前年同期比28.2増)、売上原価は当初予算550百万円に対して529百万円(前年同期比37.7%増)となりました。

(販売費及び一般管理費)

販売費及び一般管理費については、業績予想に対して既存人員の異動により期中の新規採用を抑制したことや、マーケティング関連コストの抑制等により当初予算1,100百万円に対して44百万円減少し、1,055百万

円（前年同期比 18.0%増）となりました。

以上の結果、営業利益は、当初予想よりも 64 百万円減少し、134 百万円の営業損失（前年同期は営業損失 148 百万円）となりました。

③経常利益の差異について

経常利益については、営業利益の差異の影響により、予想の 65 百万円の経常損失に対して 72 百万円減少し、137 百万円の経常損失（前年同期は経常損失 144 百万円）となりました。

④親会社株主に帰属する当期純利益の差異について

親会社株主に帰属する当期純利益についても、経常利益の差異の影響により、前回予想の 81 百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失に対して、56 百万円減少し、137 百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失 145 百万円）となりました。

以 上